

# 調査研究委員会レポート

## ◆調査研究委員会 委員の公募◆

委員会名 (所属部門) 【技術委員会】	超高速ドライブ・非接触軸受技術 調査専門委員会 (D部門)【半導体電力変換技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要, 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成18年1月～平成19年12月	回転機の小型化や高出力化, 使用環境の 拡大などのために, 超高速ドライブと非 接触軸受に対する要望が高まりつつあ る。本委員会では, 超高速ドライブと軸 受について, 設計・制御・製作・応用技 術などの調査を行う。さらに, 基礎から 応用技術までを体系的に纏めることを 目的とする。	
委員長名(所属)	市川 修(職業能力開発総合大学校)		
委員会開催頻度	12回/年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名 (所属)		市川 修 (職業能力開発総合大学校)
	電話		042-763-9222
	FAX		042-763-9114
	E-mail アドレス		ichi@ieee.org
応募いただきたい方の 専門分野, 経験など	超高速ドライブや軸受に関する要素技術や応 用技術について, 設計・開発・研究などに携わ っている方		
応募締切	平成18年10月末日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		—	

委員会名 (所属部門) 【技術委員会】	直接形交流電力変換回路の実用化と 応用技術調査専門委員会 (D部門)【半導体電力変換技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要, 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成18年1月～平成19年12月	マトリックスコンバータに代表される 直接形変換回路について, 主回路・制御 技術の動向, 実用化・応用上の課題と解 決法, 応用研究の動向, EMI 等に関す る調査研究を行います。今回は, 奇数回 目を東京で, 偶数回目を福岡で開催しま す。どちらかだけに参加されても結構で す。	
委員長名(所属)	篠原 勝次(鹿児島大学)		
委員会開催頻度	8回/年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名 (所属)		山本 吉朗 (鹿児島大学)
	電話		099-285-8411
	FAX		099-285-8414
	E-mail アドレス		yamamoto@eee.kagoshima-u.ac.jp
応募いただきたい方の 専門分野, 経験など	直接形半導体変換回路の実用化と応用に興味 のある方はふるってご参加下さい。経験は問い ません。		
応募締切	平成18年10月末日		
協同研究委員会の場合の委員の負担		—	

委員会名 (所属部門) 【技術委員会】	ナノスケールサーボのための新しい 制御技術協同研究委員会 (D部門)【産業計測制御技術委員会】		委員会での調査・検討項目の概要, 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成18年1月～平成19年12月		前身の委員会では、磁気ディスク装置などマストレージシステムを対象を絞っておりましたが、本委員会からは、ナノメートルの精度で超高速かつ超高精度に位置決めを行なう「ナノスケールサーボ」技術全般を幅広く調査したいと思います。	
委員長名(所属)	藤本 博志(横浜国立大学)			
委員会開催頻度	5回/年程度			
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名 (所属)	藤本 博志 (横浜国立大学)		
	電話	045-339-4107		
	FAX	045-338-1157		
	E-mail アドレス	hfuji@ynu.ac.jp		
応募いただきたい方の 専門分野, 経験など	マストレージシステムや半導体露光装置など各種の高速高精度位置決め制御に従事している研究者。これに関連する制御理論や、アクチュエータ制御に関連する研究者。			
応募締切	平成18年10月末日			
協同研究委員会の場合の委員の負担			1500円/年	

委員会名 (所属部門) 【技術委員会】	自動車用電源システムマネジメント 調査専門委員会 (D部門)【自動車技術委員会】		委員会での調査・検討項目の概要, 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成18年1月～平成19年12月		自動車の電動化, 電子制御化を支える自動車用電源システムの重要性が増している。この電源システムのマネジメント技術(エネルギー, パワー, セーフティ)に焦点を当て, 課題整理と最適構成などについて調査検討する。	
委員長名(所属)	寺谷 達夫(トヨタ自動車)			
委員会開催頻度	6回/年			
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名 (所属)	江守 昭彦 (日立製作所)		
	電話	0294-52-7541		
	FAX	0294-52-7613		
	E-mail アドレス	emori@hrl.hitachi.co.jp		
応募いただきたい方の 専門分野, 経験など	自動車用電源システム関連の研究・開発に携わっている方			
応募締切	平成18年10月末日			
協同研究委員会の場合の委員の負担			—	

委員会名 (所属部門) 【技術委員会】	同期機固定子鉄心の損失低減技術 調査専門委員会 (D部門)【回転機技術委員会】		委員会での調査・検討項目の概要, 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成18年4月～平成20年3月		同期機固定子の損失低減および信頼性向上に関し, 下記調査を行い, これら技術の変遷ならびに今後の指針を得るための活動を行う目的のために, 委員を募集します。 (1)材料, 構造および加工法の変遷 (2)鉄心中の損失の測定法 (3)事故時, 特殊運転時の電磁界解析 (4)鉄心の劣化・損傷メカニズム (5)鉄心更新による効率改善	
委員長名(所属)	村岡 政義(富士電機システムズ)			
委員会開催頻度	8回/年			
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名 (所属)	高瀬 冬人(摂南大) 石原 篤(日立製作所)		
	電話	072-839-9144 0294-55-6083		
	FAX	072-838-6599 —		
	E-mail アドレス	takase@ele.setsunan.ac.jp atsushi.ishihara.yv@hitachi.com		
応募いただきたい方の 専門分野, 経験など	同期機の運用, 電磁界解析, 鉄心材料または損失計測技術に関し, 5年以上の設計・開発, 研究あるいは実務経験のある方			
応募締切	平成18年10月末日			
協同研究委員会の場合の委員の負担			—	